

# V 危機管理対策

## 1. 防災訓練

下水道は、市民生活にとって重要なライフラインであり、災害等においても、その機能の維持または早期復旧が求められます。

そのため、様々な事態を想定しながら発災直後の対応に重点を置き、業務継続計画（BCP）に基づいた対応手順が確実に実行できるよう訓練を行ってきました。今後も訓練や研修を実施して、BCPをはじめとした各種計画の実効性を確保します。

### (1) 主な内容

- ① 局災害対策本部の設置及び運用訓練
- ② 職員の安否確認訓練
- ③ 災害現場の情報収集・伝達に関する訓練
- ④ 管路施設及び水資源再生センターの緊急点検、緊急措置及び情報伝達訓練 他

### (2) 主な実績（令和3年度～令和5年度）

実施日	内 容	参 加 者	会 場
令和3年5月27日	九州・山口ブロック簡易情報連絡訓練	九州・山口ブロック内の組織・団体33人(大分市上下水道局1人)	上下水道局本庁舎3階総務課
令和4年2月24日	九州・山口ブロック簡易情報連絡訓練	九州・山口ブロック内の組織・団体32人(大分市上下水道局1人)	上下水道局本庁舎3階総務課
令和4年5月11日	大分市災害対策本部会議図上訓練	大分市災害対策本部要員62人 (大分市上下水道局7人)	大分市役所本庁舎8階大会議室
令和4年6月15日	災害対応支援システム入力操作訓練	大分市災害警戒連絡室要員外68人 (大分市上下水道局8人)	大分市役所本庁舎8階大会議室
令和5年2月21日	九州・山口ブロック簡易情報連絡訓練	九州・山口ブロック内の組織・団体32人(大分市上下水道局1人)	上下水道局本庁舎3階総務課
令和5年4月26日	災害対応支援システム入力操作訓練	大分市上下水道局8人	大分市役所議会棟4階全員協議会室
令和5年5月25日	九州・山口ブロック簡易情報連絡訓練	九州・山口ブロック内の組織・団体32人(大分市上下水道局1人)	上下水道局本庁舎3階総務課
令和5年10月16日	大分市災害対策本部会議運用訓練	市全体で29人 (総合統括部・各対策部) (大分市上下水道局2人)	大分市役所本庁舎3階特別会議室
令和6年2月7日	九州・山口ブロック簡易情報連絡訓練	九州・山口ブロック内の組織・団体32人(大分市上下水道局1人)	上下水道局本庁舎3階総務課

## 2. 自家発電設備設置状況

災害に備えて、市内の水資源再生センター（5カ所）、汚水中継ポンプ場（6カ所）、雨水排水ポンプ場（花園雨水排水ポンプ場を除く7カ所）に自家用発電機を設置しています。稼働時間は運転状況によって異なりますが、いずれも12時間以上を確保しています。

### 3. 耐震化の状況

処理場、ポンプ場に直結する幹線管渠及び市役所や県庁等の災害時における重要施設からの排水を受ける管渠等（以下「重要な管渠」という。）については、平成26年度に「公共下水道管路施設総合地震対策計画」を策定し、平成27年度から耐震化工事を実施しています。

また、処理場については、耐震・耐津波対策基本計画に基づいて緊急度の高い機能をもつ施設から順次対応することとしています。

なお、令和5年度に弁天水資源再生センター管理棟耐震化工事を完了しました。

項 目		年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
重要な管渠	管渠の耐震化率	(%)	38.9	39.8	40.8	42.6	42.6
	耐震化管渠延長	(km)	26.1	26.7	27.3	28.6	28.6
	管渠総延長	(km)	67.1	67.1	67.1	67.1	67.1
管渠全体	管渠の耐震化率	(%)	42.2	43.5	44.4	45.1	45.8
	耐震化管渠延長	(km)	787.8	832.6	862.8	886.6	910.9
	管渠総延長	(km)	1,868.1	1,912.9	1,942.3	1,965.9	1,990.3

### 4. 計画等の策定

- ・有害物質等流入事故対応マニュアル（平成21年2月策定）
- ・下水道部業務継続計画（BCP）＜地震・津波編＞（平成23年7月策定）
- ・大分市上下水道局建設工事等に係る労災事故等対応マニュアル（平成24年2月策定）
- ・大分市下水道管工事におけるガス爆発事故等対応マニュアル（平成24年4月策定）
- ・上下水道事業管理者への危害行為等防止マニュアル（平成26年6月策定）
- ・浸水対策マニュアル（平成27年4月策定）
- ・大分市上下水道局業務継続計画（新型インフルエンザ対策編）（令和2年1月策定）
- ・大分市上下水道局業務継続計画（震災・津波・水害編）（令和5年3月改訂）